

# 小学校外国語活動学習指導案

津市立南立誠小学校 第6学年

\*事後検討会をもとに、公開授業当日の配布資料とは一部変更になっています  
\*吹き出しは、川村先生によるコメントです

- 1 単元名 My Dream is Your Dream ～仲間と共に夢を描こう～  
教材名 「What do you want to be? 将来の夢・職業」(文部科学省 We Can!2 Unit8)

## 2 単元目標

注：2020年度から、～について言ったり「できる」という表記になります。

- ・自分や友達の将来についてまとまりのある話を聞きおおよその内容をとらえたり、自分が将来なりたい姿について言ったりする。【知識及び技能】
- ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。【思考力、判断力、表現力等】
- ・他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。【学びに向かう力、人間性等】

注：2020年度から、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」という三観点で記述されます。

## 3 単元設定の理由

### (1) 教材について

本単元は、将来の夢が題材である。“I want to be a ～.” “I’m good at ～.” “I can ～.”などの表現を用い、将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合うことや、将来の夢について、簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりすることをねらいとしている。

本単元の最終目標は「夢宣言」で、将来の夢を伝え合うことである。しかし、将来の夢を単に「職業」に限定すると、児童にとって、決めることが難しかったり、決まっても恥ずかしくて言いにくかったりすることもあると考えられる。そこで、将来の夢を伝える際は、「職業」だけでなく「目指す生き方」を語ってもよいとしたい。そうすることで、より具体的に、児童一人ひとりの将来の「夢」に迫れるのではないかと考える。

また、高学年という発達段階において、児童は、自分のよさや自慢できることをはっきりと口にすることを苦手とする傾向もみられるが、このことは、様々な国の人々と理解し合う上で、弊害になってしまう場合もある。将来の夢について友だちと伝え合い、友だちの考えを知ったり、自分の考えを整理したりしながら、グローバル化が進む社会において、児童たちに自分のよさを自覚し、そのことをはっきりと表現できることが大切であることを気付かせたい。

本学級では、2学期より、総合的な学習の時間において、『仲間と共に夢を描こう』というテーマでキャリア教育を進めてきた。講師を招きドリームマップを作成したり、仕事のやりがいや内容に触れたりしてきた。学習を進める中でどんな仕事も周りにつながっていることに気づき、仲間と支え合う大切さ

を知ることができた。そして、その内容を全校集会で発表した。本単元は、総合的な学習の時間で学んできたことと関連させながら進めていくため、単元名を『My Dream is Your Dream～仲間と共に夢を描こう～』とした。

「夢宣言」は、小学校外国語活動の総まとめとしての役割を担っていると考えられる。これまで学んだ表現を使ったり、コミュニケーションのポイントを意識したりしながら、取り組ませていく。そして、「夢宣言」をすることで、総合的な学習の時間での学びをさらに深め、堂々と中学校へ進んでいく姿を期待したい。

他教科や学校行事等と関連させた授業ができるのは、全教科を担当が教える小学校ならではの利点です。教科化しても、この視点は忘れずに活かしていきたいものです。

## (2) 指導について

既習事項を活用してよりわかりやすい自分の夢宣言をすることを大きな目標に、毎時間の小さな目標に取り組んでいきたい。教師と児童、児童と児童がつながり、高め合いながら、大きな目標に近付かせたい。そのために、既習事項の想起、English 5 Rules を意識させていく。English 5 Rules とは、以下のものである。これらを基本として様々な言語活動を仕組んでいく。

Listen carefully  
Reaction  
Repeat  
Echoing  
Question

English 5 Rules は、  
授業の中で意識して  
実践しましょう。

第一時では、単元と出会う。授業者によるモデルを見せたり、単元の流れや語彙、最終目標を見通すことができるワークシートを配布したりする中で、単元終わりで行う夢宣言を児童に具体的にイメージさせたい。夢宣言に用いる英文は、We Can! 2 p.62にあるものを基本とし、以下のようにする。英文は、毎時間少しずつワークシートに書き溜めていき、夢宣言までに完成するようにしていく。

Hello. My name is~.  
I want to be ~. (具体的な職業の場合) / I want to ~. (生き方の場合)  
I like ~. / I am good at ~. (理由)  
What do you want to be? (問いかけ)  
Thank you.

これが最終形となります。  
最終時にこういうことが言えるように指導をしていきます。

上記のターゲット・センテンスに慣れ親しませるため、We Can! 2 Unit 8 のチャンツを参考に児童の就きたい職業等を取り入れたオリジナル・チャンツ (p.17) を作成し、毎回の授業で使用する。

第二時では、将来の夢、したいこと、その理由などについて、教科書に設定されている活動をもとに、音声から慣れ親しんでいく。ここでの英文が夢宣言の軸となるので、丁寧に押さえない。

第三時では、夢宣言に向けてグループでスピーチの練習や交流を行う。観点は、「発表の内容」と「発表の態度」とする。ここでは、スピーチの評価基準を児童に明確に示すこととする。

SはSuperで、児童のやる気を掻き立てるために設定されました。  
評価はAになります。

数字や程度（下線部）は、各校で児童の状況に合わせて設定しましょう。

	内容	伝え方	
		声、スムーズさ	目線、態度
S	・将来の夢について発表し、その理由を <u>3つ以上</u> 言っている	・みんなに聞こえる声で、 <u>はっきりと、スムーズに</u> 言える	・ <u>原稿を見ず</u> 、相手に目を合わせながら、表情豊かに言える
A	・将来の夢について発表し、その理由を <u>2つ</u> 言っている	・みんなに聞こえる声で、 <u>はっきりと</u> 言える	・ <u>ところどころ</u> 原稿を見ながらも、聞き手に目を合わせながら言える
B	・将来の夢について発表し、その理由を <u>1つ</u> 言っている	・ <u>聞こえにくい時があるが</u> 、最後まで言える	・ <u>半分以上</u> 原稿を見ながら話している
C	・将来の夢について発表しているが、その理由は一つも言えない	・最後まで言えない ・何と言っているか聞こえない	・聞き手を見ず、ずっと原稿を見ながら話している

<皇學館大学 川村一代准教授のチェックシートを参照>

ここでは、評価にこだわりすぎるのではなく、あくまでも目的は伝え合うことにあるということを意識させたい。児童は交流を二度行い、一回目は同じグループの友達のスピーチの良い点を伝えたり質問をしたりする。二回目は、一回目の交流をもとに、英文をつけ足すなど工夫をする。スピーチの練習を通して児童が「伝え合う」経験を積むことができるようにしたい。またより良いスピーチのために English 5 Rules を意識させたい。ここでは、交流の中ですべての児童が主体的に取り組めるよう、英語が得意なら新たな英文を付け足す、苦手ならば間違えずに言い切るなどそれぞれ目標をもって取り組ませ、一人ひとりが「英語でコミュニケーションをとれた」という達成感を味わえるようにしたい。

第四時では、これまでワークシートに書き溜めてきた英文を、一枚のスピーチ原稿へ書き写す。丁寧に、語と語の区切りを意識して正しく書かせたい。その上で、第三時の友達との交流の中で気付いた改善点を反映させて原稿を完成する。

第五時では、いよいよ「夢宣言」としてスピーチをする。配布されている評価基準を確認し、自分の思いや考えを伝えられるようにしたい。そして外国語活動でのコミュニケーション体験が、他教科や生活の場面に生きて働くことを願う。

4 評価規準（2019年度は移行期間のため、現行3観点に読み替えて評価を行う）

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。	自分や友達の将来についてまとまりのある話を聞いておおよその内容をとらえたり、自分が将来なりたい姿について言ったりする。	将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。

5 単元指導計画（全5時間）

時	目標◆ と主な活動（○）誌面化されている活動（【 】）	◎評価〈方法〉
1	◆単元の流れと最終目標を知り、将来の夢を表す表現を聞いたり言ったりする ○Small Talk ○ワークシートから、単元の流れと最終目標を知る ○p.58、p.59の絵からわかることを交流する ○ オリジナル・チャンツ ○ 【Let's Watch and Think】 p.59 ○ 【Let's Play】 p.59	◎将来の夢を表す表現に慣れ親しみ、聞いたり言ったりしている ＜行動観察・記述分析・ふり返しカード点検＞
2	◆将来就きたい職業やしたいこととその理由について、聞いたり言ったりする ○Small Talk ○オリジナル・チャンツ ○ 【Let's Watch and Think 2】 p.60 ○ 【Let's Listen】 p.61 ○Activity	◎友達と、将来の夢について伝え合っている ＜行動観察・記述分析・ふり返しカード点検＞
3 （本時）	◆交流を通して、スピーチの内容や仕方を工夫しよう ○Small Talk ○オリジナル・チャンツ ○グループ学習 ① 友達に Good Points を伝え、もっと知りたいことを質問する ② スピーチの内容や仕方を工夫する ○グループ活動を通して学べたことを交流する	◎交流を通して、スピーチの内容や仕方を工夫している ＜行動観察・記述分析・ふり返しカード点検＞
4	◆「夢宣言」で自分の考えがより伝わるようスピーチを改善する ○Small Talk ○オリジナル・チャンツ ○ 【Let's Read and Write 1】 p.62 ○ 【Let's Watch and Think 3】 p.60	◎英文を正しく書き写し、相手により伝わりやすくなるよう改善したスピーチ原稿を完成させる

	○これまでに書いてきた文を参考に、ワークシートへ書く	<記述分析・ふり返りカード点検>
5	◆「夢宣言」をし、友達と将来の夢を伝え合う	
	○Small Talk ○オリジナル・チャンツ ○「夢宣言」を、一人ずつ、全員の前でする ○スピーチを振り返る	◎相手に自分の思いを伝えるという目標をもって、将来の夢について言ったり聞いたりする <行動観察・記述分析・ふり返りカード点検>

## 6 言語材料

○What do you want to be? I want to be a (vet). I like (animals). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). That's (good). Good luck.

○be, luck, future, 職業(artist, astronaut, baker, bus driver, comedian, dentist, farmer, figure skater, flight attendant, pianist, pilot, singer, train conductor, zookeeper), chalk

【既出】職業, 動作, 動詞の過去形(went, ate, saw, enjoyed, was), スポーツ, 動物, 飲食物, 状態・気持ち, 身の回りの物, 教科

## 7 本時の指導 (3 / 5)

○目標 交流を通して、スピーチの内容や仕方を工夫しよう

○本時の指導 (4 5分)

活動時間	児童の活動	指導者 (T) の活動と使用英語例 ◎評価 (方法)	
		学級担任 (T 1)	ALT (T 2)
3分 3分 10分	1. あいさつ 2. オリジナル・チャンツ 3. Small Talk	・あいさつをする  ・オリジナル・チャンツを流す	・あいさつをする

ALT: What is your dream?  
 HRT: I want to work hard.  
 ALT: Oh, what do you want to be?  
 HRT: I want to be a great teacher.  
 ALT: Good luck!  
 (Switch the roles. Repeat.)  
 HRT: How about you? What do you want to be?  
 ALT: I want to be a zookeeper. I like animals.  
 HRT: Do you like penguins?  
 ALT: Yes, I do.  
 HRT: (To the students.) Do you like penguins?  
 (To the ALT.) Why do you like penguins?  
 ALT: Penguins are very cute.  
 HRT: That's nice!  
 (To the students.) Let's talk about your dream. Make pairs. Let's start!

・ペア活動 1 回目

HRT と ALT は、机間指導をし、適宜声掛けをする

・中間交流

・言いたかったが言えなかったことなどを尋ねる  
 ・言いたいことが英語で言えるよう支援する

・児童の考えた英語が正しいかチェックする

・ペア活動 2 回目

HRT と ALT は、机間指導をし、適宜声掛けをする

・1回目の活動より改善しているかチェックする

・1回目の活動より改善しているかチェックする

4. Activity

8 分

①ALT のスピーチを聞き、活動の流れを確認する

・ALT に Good Points を伝え、もっと知りたいことを質問する

・児童から Good Points や質問が出にくければ、HRT がする

・スピーチをする

Hello. My name is Matthew.  
 I want to be a zookeeper.  
 I like animals.  
 What do you want to be?  
 Thank you.

Good Points

- ・コミュニケーション要素 (Clear voice, Good eye contact, Nice smile, ジェスチャーなど)
- ・言語要素 (内容、情報量など)

	<p>②Group work</p>		
<p>6分</p>	<p>③中間交流</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT のスピーチの内容を改善するため、質問をする</li> </ul> <p>※予想される質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆Do you like penguins?</li> <li>☆Do you like rhinos?</li> <li>☆Do you like giraffes?</li> <li>☆Where do you want to go?</li> <li>☆Why?</li> </ul> <p>・友達との交流で尋ねる質問の表現を確認する</p>	<p>・ALT のスピーチの内容を改善するため、質問するよう言う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の質問からスピーチの内容をつけ足したり、文の順序を整理したりしていく</li> <li>・ポイントを整理する</li> </ul> <p>☆伝え方の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>☆自分の言いたいことを付け加える</li> <li>☆内容を整理する (文の順番を変えてみるなど)</li> </ul> <p>・交流に使えるような質問を整理する</p>	<p>HRT と ALT は、机間指導をし、適宜声掛けをする</p> <p>・児童の質問を受け、スピーチの内容を工夫する</p> <p>工夫後の例</p> <p>Hello. My name is Matthew. I want to be a zookeeper. I like animals. I like penguins, rhinos, and giraffes. They are cool and cute. I want to go to Africa. You can see many animals there. What do you want to be? Thank you.</p> <p>・質問の表現の見本を示す</p>
	<p>④Today's Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標を確認する</li> </ul>	<p>交流を通して、スピーチの内容や仕方を工夫しよう</p>	

- 交流は4分とする
- ①発表者が話す
  - ②発表者の右隣の人から時計回りで Good Points を伝え、もっと知りたいことを質問する
  - ③発表者は質問に答える
  - ④次の発表者に移る (①へ戻る)

HRT と ALT は、机間指導をし、適宜声掛けをする

- ※予想される質問
- ☆Do you like penguins?
  - ☆Do you like rhinos?
  - ☆Do you like giraffes?
  - ☆Where do you want to go?
  - ☆Why?

- ☆伝え方の工夫
- ☆自分の言いたいことを付け加える
- ☆内容を整理する (文の順番を変えてみるなど)

- ☆Do you like~?
- ☆Can you~?
- ☆What is this?
- ☆Do you want to be ~?
- ☆Why~?
- ☆Where do you want to go?

10分	<p>⑤Pair work</p> <p>交流は1ペア1分30秒とする  ☆工夫できそうな点はどんどんスピーチに取り入る</p> <p>①黒板に向かって左側の人から発表する  ②発表者は、スピーチが終わったら“Questions, please!”と言う  ③聞き手は質問をする  ④発表者は質問に答える  ⑤発表者と聞き手を交代する(①へ戻る)  ☆時間に余裕があれば、どんな工夫ができるか pair で相談し合う</p>		<p>HRTとALTは、机間指導をし、適宜声掛けをする</p> <p>◎交流を通して、スピーチの内容や仕方を工夫している&lt;行動観察&gt;</p>
5分	<p>5. まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業を通しての自分の変化を確認し合う</li> <li>・ふり返りカードを書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数名の児童を指名し、スピーチの変化を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする</li> </ul>
	<p>6. あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする</li> </ul>

## 8 板書計画

Unit8 My Dream is Your Dream ~仲間と共に夢を描こう~

**Today's Goal:** 交流を通して、スピーチの内容や仕方を工夫しよう

Hello. My name is~.

I want to be ~. / I want to ~.

I like ~. / I can  
(I am good at~.)

What do you want to be?

Thank you.

I want to be a zookeeper.

I like animals.

I like penguins.

I like penguins, rhinos, and giraffes.

They are cool and cute.

I want to go to Africa.

You can see many animals there.

What do you want to be?

Thank you.

**スピーチ工夫のポイント**

①伝え方を工夫する

②文を足す

③内容を整理する  
(文の順番を変えるなど)

**質問に用いるとよい表現**

☆Do you like~?

☆Can you~?

☆What's this?

☆Why~?

☆Do you want to be ~?

☆Where do you want to go?



# Unit8 My Dream is Your Dream ～仲間と共に夢を描こう～

Grade : Class : Name :

**GOAL:将来の夢を伝え合おう!**

Hello. My name is ～.

---

---

---

---

---

---

---

---

<単元の流れ>

- ① 職業の言い方に慣れ親しもう
- ② 理由の言い方を学ぼう
- ③ グループで交流しよう
- ④ 原稿の清書をしよう
- ⑤ 夢宣言をしよう

<Key Sentences>

- ☆What do you want to be?
- ★What is your dream?

- ☆I want to be a(an)～.
- ★I want to～.
- ★★I want to be～.

- I like～.
- I can～ (I am good at～.)
- I study hard.
- I practice hard.

- ◎That's good!
- ◎Good luck!



What do you want to be?

Thank you.

## Dreams

- |                        |                  |                     |
|------------------------|------------------|---------------------|
| ☆hair stylist          | ☆vet             | ★never give up      |
| ☆marine animal trainer | ☆soccer player   | ★challenge anything |
| ☆fire fighter          | ☆illustrator     | ★ride horses        |
| ☆basketball player     | ☆system engineer | ★go abroad          |
| ☆teacher               | ☆doctor          | ★eat food           |
| ☆singer                | ☆song writer     | ★★myself            |
| ☆interpreter           | ☆singer          | ★★healthy and happy |
| ☆company's president   |                  |                     |

外国語活動ふり返しカード 年 組 番 名前

月 日 ( )

Today's Goal

--

English 5 Rules	◎	○	△
Listen carfully (よく聞く)			
Reaction (反応する)			
Repeat & Echoing (繰り返す)			
Question & Answer (質問する)			

Small Talk	◎	○	△
相手の言ったことをくり返すなどして反応できたか			
相手に質問できたか			
一言感想が言えたか			
英語での会話を楽しめたか			

将来の夢について	◎	○	△
Good Pointsを意識して話すことができたか			
将来の夢をクラスの友達に詳しく伝えられそうか			
将来の夢についてクラスの友達と伝え合いたいと思うか			

### スピーチの工夫について

①スピーチを工夫するために、積極的に交流できたか

②自分のスピーチで、どんなことを工夫できそうか

※スピーチに付け加えや変更があればここにメモしておこう

# Small Talk ポイント ～英語を使って、3往復以上会話を続けよう～

## ①対話の開始 テーマを確認し合おう

“Hello. How are you? Let’s talk about ○○!”

## ②繰り返し Repeat や Echoing で、あいづちをうとう

(相手) “I like baseball.”

(自分) “Oh, you like baseball!” など

## ③確かめ 質問の内容がわからなければ、確かめよう

“Excuse me?” “Pardon me?” “Say that again!” など

## ④ひと言感想 Reaction で、内容を理解していることを伝えよう

“That’s nice!” “Really?” “Sounds good!” “No way!” など

## ⑤さらに質問 Question & Answer で、よりくわしく知ろう

(相手) “I like sport.”


→ (自分) ☆What sport do you like?  
☆Do you like baseball?  
☆Can you play soccer?  
☆Why do you like this sport?  
など

☆Do you like～?  
(好きなものを聞く)  
☆Can you ～?  
(できるかどうか聞く)  
☆Why～?  
(理由を聞く)  
→Because～.で答えよう!  
☆What ○○ do you like?  
(好きな○○を聞く)

## ⑥対話の終了 気持ちよく終わろう

“Thank you very much.” など


【南立誠小学校 オリジナルチャンツ】

♥ Our Dreams 

1

What do you want to be in the future?


I want to be a dancer.  
I can dance well.



2

What do you want to be in the future?


I want to be a writer.  
I like reading and writing.



3

What do you want to be in the future?

I want to be a cook.  
I can cook well.



4

Switch!

5

"What is your dream?"


6

Ready, set, go!

7

What is your dream?


I want to be healthy and happy.  
I like video games.



8

What is your dream?

I want to go abroad.  
I like English!



9

6年生1学期 外国語活動の評価について

\*移行期間のため、教科化を見越して、試験的に実施した

評価の観点：コミュニケーションに対する関心・意欲・態度

<実施方法>パフォーマンステストを実施する。

児童を一人ずつ廊下へ呼ぶ。待機児童は We Can!の Let's Read and Write など書く活動をする。

①ALT が以下の質問をする。

☆How are you?

☆What's your name?

☆When is your birthday?

☆What ○○ do you like? (sports, animals, fruits, colors)

☆When is your birthday?

☆Do you have any questions?

(可能ならば、児童から ALT に質問する。)

②担任は評価を記入する。

6年 組 番 学期 (名前 )

	A	B	C	Memo
1 声の大きさ				
2 目線				
3 積極性 (粘り強く、英語を使用しようとしている)				

6年生2学期 外国語活動の評価について

\*移行期間のため、教科化を見越して、試験的に実施した

評価の観点：外国語への慣れ親しみ（文法、語彙、発音）

<実施方法>パフォーマンステストを実施する。

児童を一人ずつ廊下へ呼ぶ。待機児童は We Can!の Let's Read and Write など書く活動をする。

①児童は ALT に日本の行事・食べ物・伝統的な遊びについて言い、それらについて ALT が質問をする。

☆We have (行事) in (季節)

☆We have (食べ物) in Japan. It's (味)

☆We have (伝統的な遊び) in Japan. I like ○○→Why?

I don't like ○○→Why not?

②担任は評価を記入する。

6年 組 番 学期 (名前 )

	A	B	C	Memo
1 声の大きさ				
2 目線				
3 文・語の適切さ				